

平成 24 年 10 月 26 日

各 位

大阪府中央区伏見町四丁目 1 番 1 号
エレコム株式会社
取締役社長 葉田 順治
(コード番号：6 7 5 0)
問合せ先 業務統括部長 山本 豊
電話番号 06-6229-1418

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月7日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

1. 平成25年3月期 第2四半期（累計）連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A) (平成24年5月7日公表)	30,431	3,165	2,882	1,393	69 円 57 銭
今回修正 (B)	30,189	2,650	2,550	1,350	67 円 18 銭
増減額 (B－A)	△241	△515	△332	△43	－
増 減 率	△0.8%	△16.3%	△11.5%	△3.1%	－
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	28,884	2,980	2,755	978	48 円 92 銭

2. 平成25年3月期 通期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) (平成24年5月7日公表)	66,000	7,200	6,600	3,400	169 円 77 銭
今回修正 (B)	64,000	5,900	5,500	2,850	141 円 82 銭
増減額 (B－A)	△2,000	△1,300	△1,100	△550	－
増 減 率	△3.0%	△18.1%	△16.7%	△16.2%	－
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	62,546	6,805	6,129	3,313	165 円 61 銭

3. 修正理由

[第2四半期累計期間]

売上高は、スマートフォン及びタブレット端末関連製品の販売が計画を上回って推移しましたが、昨年度の地上デジタル放送移行による薄型テレビの買替需要の反動減が予測を上回り、テレビ録画対応のストレージ製品の販売が計画を下回る等の売上高の減少要因があり、当第2四半期累計期間の連結売上高は、前回予想を僅かに下回る30,189百万円となる見込みとなりました。一方、利益面におきましては、

競合他社との価格競争の激化、並びに昨年発生したタイ国大洪水の影響によるストレージ製品の仕入価格の上昇等により、売上総利益率が低下したこと等から、営業利益は前回予想を16.3%下回る2,650百万円、経常利益は前回予想を11.5%下回る2,550百万円、四半期純利益は欧州子会社3社の解散及び清算にともなう事業整理損等の特別損失182百万円を計上するものの、前回予想を3.1%下回る1,350百万円となる見込みとなりました。

[通期]

売上高は、スマートフォン及びタブレット端末関連製品の販売は引続き順調に推移する見通しですが、主にストレージ製品の販売見直しを見直し、前回予想を3.0%下回る64,000百万円に修正し、利益面では第2四半期累計期間の修正理由に記載の要因により、売上総利益率が当初予想を下回る見通しであること等から、営業利益は前回予想を18.1%下回る5,900百万円、経常利益は前回予想を16.7%下回る5,500百万円、四半期純利益は前回予想を16.2%下回る2,850百万円に修正いたします。

なお、配当予想につきましては、平成24年10月26日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

- (注) 1. 業績予想の修正につきましては、現段階の入手可能な情報に基づいて判断しておりますが、実際の業績等は様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。
2. 平成25年3月期における個別業績予想は公表しておりません。

以上